

先月の活動（7月）

日本語教室 7/5(M), 12, 26(3回)
7/16(水) 草津市多文化共生推進プラン策定委員会（恩地）

●日本語教室の(M)は定例ミーティング ●()内は参加者、または 参加予定者。敬称略

今月の活動予定（8月）

日本語教室 8/2(M), 9(教室開放日), 23, 30 (4回)



オリーブ通信

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu/>

2025年
8月号
2025. 8. 23 発行
第280号

参加人数（7月）

	7/5	7/12	7/26	
学習者	29	27	14	
スタッフ	20	22	19	

会員の動き（7月）

〈入会〉7/26 グエン ヴァン フォン
〈休会〉なし
〈退会〉なし

お知らせ

RINK 第2回例会のお知らせ

今回の参議院選挙では、「日本人ファースト」や「外国人優遇策の見直し」をかかげた政党が得票をのばしました。また、最近外国人へのヘイトスピーチ、ヘイトクライムも増加しています。このようななか、政府は外国人労働者受入れを拡大しつつ、不法滞在者ゼロプランなど、外国人への管理・監視をより強化する方向性も打ち出しています。一方で、実際にRINKに寄せられる相談からは、日本の政策で受け入れられた人々が、優遇策どころか労働基準や人権を守られない状況で働き、生活していることも見えてきています。

今年度第2回の例会では、RINK事務局から最近の特徴的な相談事例を報告し、現状を共有するとともに、今後に向けた課題を検討していければと考えています。会場での参加以外に、オンラインによる参加も受け付けます。参加を希望される方は、下記アドレスまでメールでお申し込みください。当日までにZOOMのURLをお送りします。RINK メールアドレス：rink@a.email.ne.jp

例会はどなたでも参加できます。多くの皆様のご参加をお待ちしています。参加費は無料です。

2025年度 RINK 第2回例会

日時：9月13日（土）午後2時～

場所：JAM 西日本会館 6階ホール（地下鉄肥後橋3号出口徒歩5分）

報告：最近の相談事例から 報告と検討

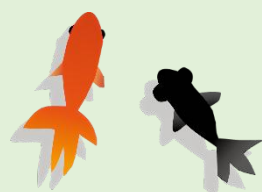
報告者：RINK事務局

*情報交換や、意見交換も行ないます。

RINK（すべての外国人労働者とその家族の人権を守る関西ネットワーク）

大阪市西区土佐堀1-6-3 JAM 西日本会館5F 市民オフィス内

tel:06-6476-8228 fax:06-6476-8229



七夕の英語平和の願いかな

中村健治

ケンジさんの俳句八月（景月）

編集後記：今年の夏は悲しい出来事がありました。オリーブの設立当初からの友人を病で失ったのです。日系ブラジル人の彼には家族がなく、入院手続きから必要品の買い出し、さまざまな事務処理、アパートの整理まで古い友人である、オリーブの仲間が引き受け、約3か月の闘病を見守り、最後を看取りました。

彼とは10年以上も会っていなかったにもかかわらず古いオリーブの友人たちも駆けつけてくれました。忘れがたい人でした。昔、彼が教えてくれたポルトガル語の言葉が今リアルティをもって心に響きます。Saudade（サウダージ）(MO)



新スタッフ

グエン ヴァン フォン
ベトナムから参りました。
色んなことチャレンジしたいと思ってます。
何か、誰かの役に立てると嬉しいです。



8月9日

今年新たに取り入れた教室開放日でした。来てもいいし、やすすんでもよし、という取り決めなので、休む人が多いかと思いきや、いつもの半分くらいの先生・生徒が参集。静かで落ち着いていて勉強はかどったかも。(*^_^*)



中川先生のへんてこ日本語

178

「L」空間

筆者が常時利用するJRの車内からは、3か月ほど前から次のようなアナウンスが流れてくる、JR西日本から列車発車時のお願いです。黄色い点字ブロックより線路側の「L」空間で立ち止まったり、…列車発車時にホームをご通行される際は、「L」空間から離れていたいただきますよう、皆様のご協力をお願いいたします。

「L」空間？と言ったよね。「耳慣れぬ言葉に「えっ？どこ？」と考えたが、列車と点字ブロックとの間の30センチばかりのスペースであることが分かる。

耳慣れぬ言葉を使用する際は、説明を加えるなり、使用しないなりするかがいいだろうと思いながら、「L」空間」とネット検索をかけると、まさにこのアナウンスが載っていた。「列車と点字ブロックの間は注意を要する箇所です」「L」空間」とよんでいます。このシナリオがある。なぜ説明が削除されたのかは知らないが、こちらの方が明らかに分かりやすいが、ややくどい感もする。限られた時間に効果的に伝えるために、上記アナウンスに取り替わったのだろう。

どうやら危険な空間を「L」空間」と呼ぶらしい。それを知らなかったのは筆者だけなのか、それとも容易に推察可能な空間なのか。

日本語に続く英語の「アナウンス」では、「Space」なんて言葉は出て来ない。それにしても公共のアナウンスは、しかも危険を知らせる場面では、分かりやすい言葉を選ぶべきだと感じた。

確かに「L」空間は、列車との接触やホームからの転落の恐れがあり危険である。防護柵や防護扉の設置も進んでいるが、誰も立ち止まったり歩行したりすることのない「Lonely」空間になればいい。

国際教育企画顧問 中川良雄



オリーブと若者たち

滋賀県立国際情報高校の卒業研究で、日本で就労する外国人問題に目を向けた小田垣莉子さんが研究の過程でオリーブを知り、取材に来られました。取材前後の対応も素晴らしく、将来が楽しみな若者でした。以下小田垣さんに提出していただいたレポートです。

オリーブ教室インタビュー 2025.06.07

☆インタビューをしたきっかけ

本校では自分でテーマ決め卒業研究を行う授業で、私はベトナムやアジアの文化について興味があり調べることにしました。そして調べていくと現在ベトナムの労働者の方が日本で最も多く働いていることを知りました。それと同時に、ニュースで外国人労働者の職場内でのトラブルや日本で生活するにあたって様々な課題があると知りました。そのため「ベトナム人労働者が働きやすい環境をつくるためには、日本人が異文化への理解を深めることが最も重要か。」をテーマに研究を行うことにしました。

そして研究をしている間に、お互いの文化を大切にしながら日本語について教え・学んでいるオリーブ教室と恩地美和様について知りました。そこで外国人の労働者の方々に對して、日本の社会や従業員の人達がどの様に接し、どの様に改善するべきなのかを知る目的でインタビューさせていただきました。

☆インタビューの感想

- ・外国人の労働者の方々働きやすい職場や環境を作るためには、日本人が根深い偏見を無くし同じ立場で接し、異文化の理解を深めることが大切だと知りました。
- ・インタビューで生徒の方に様々な種類の日本語があるから覚えるのが大変と聞き、改めて日本語を習得する難しさを実感しました。
- ・今回のインタビューを通して、日本人が異文化への理解を深めるためには、どの様な活動・政策を行うことが最も効率的で重要か疑問に思いました。
- ・日本語能力試験のN1やN2 Nを受ける方もいてすごいと実感しました。



また訪問する機会があればよろしくお願いします♪

ラーマンさんの最後の授業！
とても日本語お上手でした



☆最後に

インタビューを初めてした未熟な私を優しく迎え入れて下さった恩地美和様をはじめ、ボランティアの先生の方々、生徒の方々に本当にありがとうございました。

始めは生徒の方々に自分の質問や思いが伝わるか不安でしたが、自分の分かりにくい質問に対して聞いて下さったり、沢山の方が笑顔で私の話を聞いて下さったりして嬉しかったです。

今回オリーブを訪問させていただき、より研究の意欲が高まるきっかけに繋がりました。またインタビューを通して様々な国の出身の生徒の方とお話をすることができ、もっと沢山の方と交流し、それぞれの生徒の方の国の文化に触れ深めたいと感じました。

来たぞ万博、行ったぞ万博

豊村 信良

どうせ1回では見きれないと考え、一泊国内旅行に行ったつもりで思い切って購入した大阪万博の通期パス、3万円なり。この金額、非日常の空間で諸外国の雰囲気に触れられると思えば・・・結果、たいへん楽しくおもしろい体験ができています。



そんな中、唯一アナログなのはスタンプパスポート。訪れたパビリオンのスタンプを押して集めていくという楽しみがあります。

158もの国と地域が参加している大阪万博。会期終了の10/13まで、まだまだ通おうと思っています。

どうせ1回では見きれないと考え、一泊国内旅行に行ったつもりで思い切って購入した大阪万博の通期パス、3万円なり。この金額、非日常の空間で諸外国の雰囲気に触れられると思えば・・・結果、たいへん楽しくおもしろい体験ができています。

各国のパビリオンを巡るだけでなく、ステージでのイベントや各国料理などグルメも楽しめます。

開幕前は不気味がられていた万博公式キャラクターのミャクミャクですが、今や大人気のお土産グッズキャラクターとなっています。

まず入場して目の前に現れる木造の大屋根リングは圧巻です。登れば見晴らしは絶景。清水の舞台と同じ高さに設計されているとのこと。

これまで印象深かったのは

- ・イタリア館 ダヴィンチ直筆のスケッチ画
- ・アメリカ館 月の石
- ・サウジアラビア館 アラビア文字の習字
- ・EXPO ホールのイベント 石見神楽(島根県) など

3回目の万博訪問時はフィリピンウィークの週でした。屋外ステージの民族ダンスを観に行った際、偶然イベントの関係者と話しをする機会があり一緒に写真を撮ったりというような交流もできました。

やはり興味があるのは、馴染みのないアフリカや中東です。4回目の訪問の時は、コートジボアールのパレードを観ることができました。踊って歌ってねり歩くにぎやかなパレードでした。

チケットの購入、入場日時予約などすべてスマホ、会場内は現金が一切使えず電子マネーかクレジットカードというデジタル化の徹底ぶり。自動販売機すらです。



